

まいた

令和8年度

9月号

令和8年8月27日

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/maita/>

夏休みを終えて

副校長 藤野俊子

この夏、熊本県を中心とした地震や、千葉県をはじめ各地で発生した大雨により、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、8月23日未明には茨城県南部を震源とする地震が発生し、横浜でも大きな揺れがありました。いづれどこで起こるか分からない災害を前に、日頃から備えることの大切さを改めて感じています。

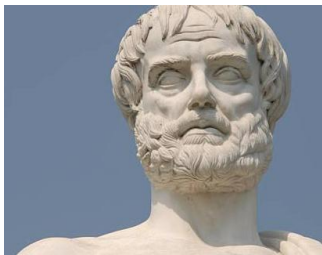
長い夏休みが終わり、蒔田小学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。一方で、夏休み明けは生活リズムの変化や学校生活への不安などから、心や体の調子を崩しやすい時期でもあります。一人ひとりの様子を丁寧に見取りながら、安心して学校生活をスタートできるようにしていきます。

子どもたちを迎える環境づくりで大切にしたいことの一つに、「心理的安全性」があります。これは、Googleが成果を上げるチームの特徴を探った「プロジェクト・アリストテレス」という研究の中で注目された考え方です。研究では、優れた成果を生み出すために重要なのは、「誰がいるか」よりも「どのように関わっているか」であり、その土台となる心理的安全性が大切であることが示されました。安心して意見を伝えたり、分からないことを質問したり、失敗を認めたりできる環境は、個々の力を発揮しやすくするとともに、集団としての成果を上げることに繋がります。

この考え方は学校においても大切な視点です。安心して自分の思いを表現でき、互いの違いを認め合い、困ったときには助けを求められる環境は、よりよい学級づくりや学校づくりの基盤になります。地域においても人と人とのつながりを深める力となり、今回のような災害時には、「助けて」と声を上げることや、「大丈夫ですか」と声をかけ合うことで、命や生活を支える大きな力になるのではないのでしょうか。

心理的安全性は、大人が一方的に与えるだけではなく、子どもたち自身が互いを認め、支え合う中で育まれていくものでもあります。5月に実施された横浜市学習状況調査の本校の結果では、「自分の考えを相手に分かるように伝えるようにしている」「うれしそうの人がいると自分もうれしくなる」と回答した割合が、いずれも横浜市平均を上回っていました。日頃の子どもの様子からも感じていたことですが、改めて本校の子どもたちに、思いやりの心や人と関わろうとする気持ちが着実に育まれていることをうれしく思います。

これからも安心して学び、自分らしさを発揮できる環境づくりを大切にしながら、主体的に考え行動する力や、多様な人々を尊重し認め合う人権感覚を育てていきます。夏休み明け、不安な気持ちを抱えている子どもたちもいるかもしれませんが、周りには温かく支えてくれる仲間や教職員がいます。心配なことや不安なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



アリストテレスとは？

今から約 2300 年前に生きた古代ギリシャの哲学者です。物事をよく観察し、論理的に考えることを大切にし、哲学だけでなく、科学、政治、倫理など幅広い分野に大きな影響を与えました。

夏休み中の工事の様子



体育館にエアコンが7台

設置されました。

9月の中旬から試運転が始まる予定です。



最上階の教室（5年、1年、国際）

を対象とした断熱改修工事

- ・日射を和らげる遮熱カーテン
- ・自動で換気を行い冷房効率を高めるシステムの導入



外壁の内部の補修工事

中東情勢で資材の入手が困難な中、給食の搬出入に影響が出ないよう蒔田小を優先的に工事を実施していただきました。